

問1 建武の新政が行われていた期間の混乱ぶりを風刺し、当時の社会状況を伝えるために作られた落書きを何という？

1. 二条河原の落書 2. 御成敗式目 3. 方丈記 4. 枕草子

問2 後醍醐天皇による天皇親政が始まるきっかけとなった、1333年に滅亡した武家政権は何か？

1. 室町幕府 2. 鎌倉幕府 3. 江戸幕府 4. 明治政府

問3 室町時代に質屋を営み、酒屋とともに金融業として富を蓄えたのは何？

1. 惣 2. 寄合 3. 土倉 4. 座

問4 室町時代に、幕府が許可を与えた商船が中国の明と行った貿易を何という？

1. 朱印船貿易 2. 遣唐使 3. 北前船貿易 4. 勘合貿易

問5 借金の帳消しなどを求めて、高利貸しなどを襲撃した農民らの蜂起を何という？

1. 土一揆 2. 島原の乱 3. 国一揆 4. 一向一揆

問6 足利尊氏が鎌倉幕府を倒したあとに離反し、吉野に逃れて対立した天皇は誰？

1. 足利義満 2. 後醍醐天皇 3. 光厳天皇 4. 足利尊氏

問7 応仁の乱の後、実力のある者が上の立場の者を倒して勢力を広げた、戦国時代の風潮を何という？

1. 一揆 2. 落胤 3. 一門 4. 下剋上

問8 禅宗の影響を受けて発展した、石や砂などで山水を表現する東山文化を象徴する庭園様式は何？

1. 能楽 2. 水墨画 3. 枯山水 4. 書院造

問9 京都の北朝と吉野の南朝の対立を終わらせ、南北朝を合体させた室町幕府の第3代将軍は誰？

1. 足利義満 2. 足利直義 3. 足利尊氏 4. 足利義詮

問10 勘合貿易において、正規の貿易船を証明するために、明側と日本側で半分ずつ持った札のことを何という？

1. 撰銭令 2. 合い札 3. 勘合符 4. 通行手形

問11 下の身分の者が、上の身分を力で倒して地位を奪う、室町時代の社会風潮を何という？

1. 門地 2. 家格 3. 実力 4. 血縁

問12 室町時代、堺や博多などが大きく発展するきっかけとなった、明との間で行われた貿易を何という？

1. 南蛮貿易 2. 日宋貿易 3. 朱印船貿易 4. 日明貿易

問13 鎌倉幕府が滅亡した後、後醍醐天皇の政権から離反し、京都に武家政権を樹立した人物は誰？

1. 足利義政 2. 足利尊氏 3. 足利義教 4. 足利義満

問14 室町時代、琵琶湖の水運と連携し、大津や坂本などの港から京都へ物資を陸上輸送していた運送業者を何という？

1. 馬借 2. 問丸 3. 車借 4. 座

問15 慈照寺銀閣の東求堂同仁斎に見られる、畳や床の間などを備えた現代の原型となる部屋を何という？

1. 畳 2. 床の間 3. 書院造 4. 和室

問16 室町幕府が関東地方を支配するために設置した、室町幕府の地方統治機関の設置者は誰？

1. 足利義政 2. 足利義満 3. 足利尊氏 4. 足利義教

答え合わせ・解説

問1	答え 1 二条河原の落書	二条河原の落書は、当時の世の中の様子や政治の混乱を風刺した文章です。二条河原（現在の京都市内）の壁などに書かれたとされており、当時の庶民や武士が感じていた政府への不信感が鋭い言葉で表現されています。
問2	答え 2 鎌倉幕府	鎌倉幕府は、北条氏が実権を握り、武士による裁判や土地支配を行う仕組みを整えていました。しかし、1333年に足利尊氏や新田義貞の活躍によって滅亡しました。これにより約150年続いた武士による支配体制が一時的に崩れることとなりました。
問3	答え 3 土倉	「土倉（どそう）」は、もともと商品を保管する倉庫を指していましたが、預かった商品を担保にして金を貸す質屋のような役割を持つようになりました。酒屋とともに幕府から営業の認可を得る代わりに税を納めることで、幕府の重要な財源となりました。
問4	答え 4 勘合貿易	足利義満が明の皇帝と交渉し、正式な貿易が始まりました。日本側は証明書である「勘合」を持つ船のみが貿易を許可され、日本からは刀剣や工芸品が、明からは生糸や「永楽通宝」などの銅銭が輸入されました。
問5	答え 1 土一揆	「土一揆（つちいっき）」は、経済的な困窮に追い込まれた農民たちが団結して起こした反乱です。特に、高利貸しを営む土倉や酒屋を襲撃して、借用書を破棄させる「徳政（借金の帳消し）」を幕府に要求しました。
問6	答え 2 後醍醐天皇	この武士たちの不満を受け、足利尊氏が後醍醐天皇に反旗を翻しました。尊氏は京都を制圧して新たな天皇を擁立し、後醍醐天皇は吉野へ逃れて「南朝」を開きました。これに対して京都の尊氏側を「北朝」と呼び、以後約60年にわたり両者が争う時代となりました。
問7	答え 4 下剋上	「下剋上」とは、下位の者が上位の者を実力で倒して支配権を奪う、戦国時代特有の世の中の秩序を指します。守護大名が家臣や国人に実権を奪われる事態が各地で相次ぎました。
問8	答え 3 枯山水	枯山水は、池や川などの水を用いず、白砂や石の配置によって、山水の風景や海、大自然の深淵さを表現する庭園様式です。見る人の想像力に訴えかける「わび・さび」の精神が重視されました。
問9	答え 1 足利義満	室町幕府の第3代将軍である足利義満は、力のある守護大名を抑え込むと同時に、1392年に南朝の天皇から北朝の天皇へ位を譲らせる形で南北朝を合体（統一）させました。
問10	答え 2 合い札	勘合符とは、明の皇帝が発行した証明書で、半分に割った「合い札」という形式をとっていました。日本からの使節団が到着した際、明側が持つ半分と突き合わせ、一致すれば貿易が許可されました。これにより、幕府の許可を得た船であることが証明され、安全な交易が可能となりました。
問11	答え 3 実力	かつての伝統的な秩序や家柄が重んじられる時代から、個人の能力や武力が重要視される時代へと変化しました。これが「実力」主義的な社会風潮である下剋上の本質です。
問12	答え 4 日明貿易	日明貿易は、当時の日本にとって中国の文物を輸入する重要な手段でした。明側からは銅銭（永楽通宝など）や絹織物、書物などが輸入され、日本からは金、銀、工芸品などが輸出されました。この利益によって堺や博多の都市が繁栄し、経済的に自立する大きな原動力となりました。
問13	答え 2 足利尊氏	足利尊氏は有力な武士団を率いて後醍醐天皇に背き、光明天皇を立てて京都に新しい武家政権を樹立しました。これが室町幕府の始まりです。
問14	答え 1 馬借	馬借（ばしゃく）は、馬の背に荷物を載せて運送を行う業者です。琵琶湖などの水運と組み合わせて、港から京都へ物資を運ぶ重要な役割を果たしました。当時の物流の主役の一つであり、運送を通じて経済的に大きな影響力を持つようになりました。
問15	答え 4 和室	室町時代に発達した書院造は、床の間や違い棚、障子、襖、そして部屋全体に敷き詰められた畳が特徴です。これが慈照寺銀閣の同仁斎という部屋に結実し、後の住宅様式の基本となりました。
問16	答え 3 足利尊氏	尊氏は、鎌倉幕府の伝統があった関東地方を安定して統治するため、自身の子供や一族を派遣して「鎌倉府」を置きました。これは、京都の幕府とは別に、東国の軍事や行政をまとめる重要な組織として機能しました。